

事後調査報告書（工事の施行中その３）
－西品川一丁目地区再開発計画－

調査項目 地盤、地形・地質、水循環、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、環境保全のための措置（大気汚染、騒音・振動、電波障害）、その他（土壌汚染、史跡・文化財）

環境影響評価書の提出 平成25年 1月15日

事後調査計画書の提出 平成25年 11月 1日

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称：西品川一丁目地区市街地再開発組合

代表者：理事長 池田 善俊

所在地：東京都品川区西品川一丁目 7 番 1 号

2. 対象事業の名称及び種類

名 称：西品川一丁目地区再開発計画

種 類：高層建築物の新築

3. 対象事業の内容の概略

本事業は、東京都品川区西品川一丁目に位置する計画敷地約 3.9ha 内に、業務、住宅、工場等を計画するものである。対象事業の内容の概略は、表 3-1 に、また、計画地の位置は、図 3-1 に示すとおりである。また、計画建築物の配置計画は、図 3-2 に、断面図は、図 3-3(1)～(3) に示すとおりである。

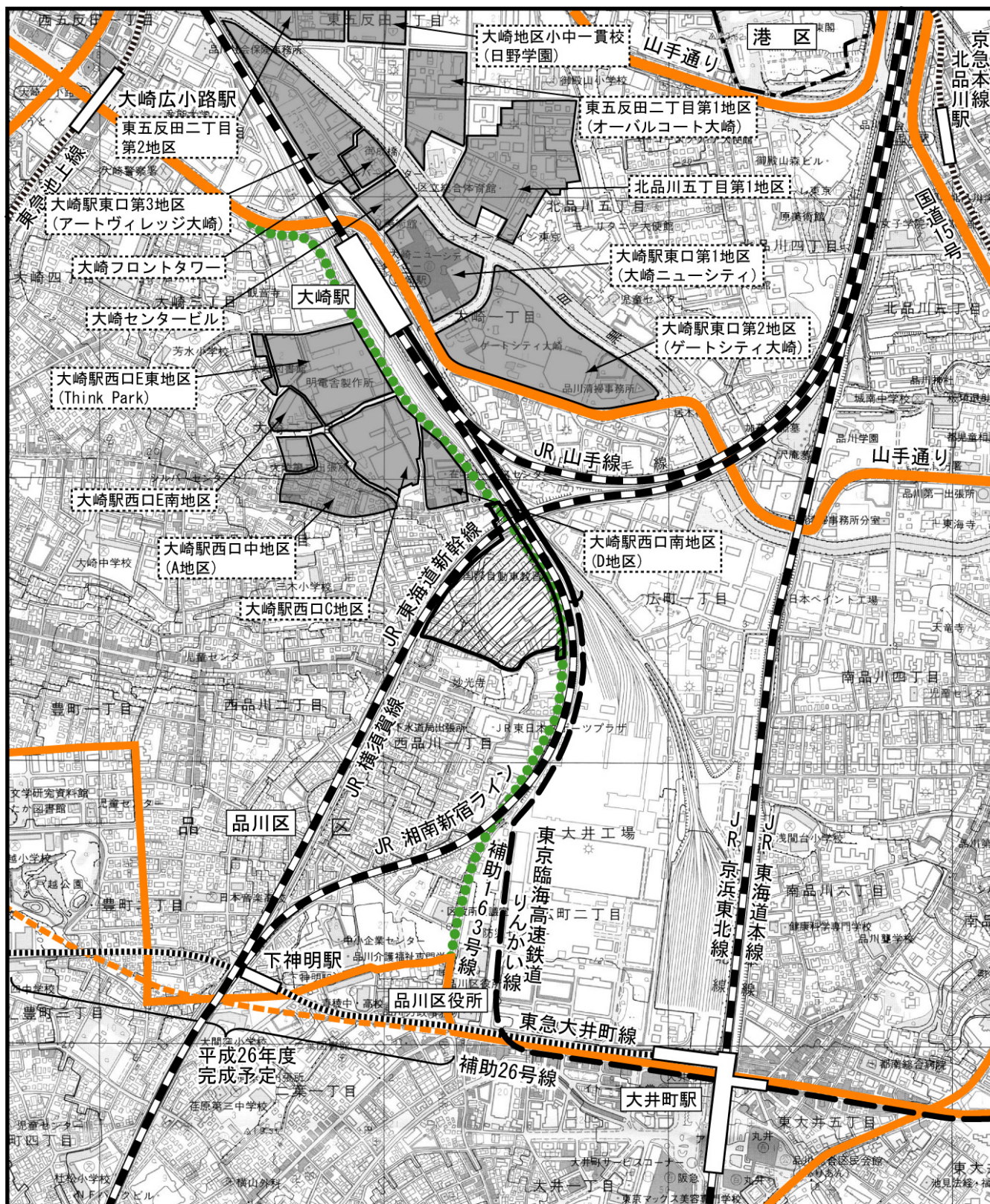
表 3-1 事業の内容の概要

項 目	内 容
計 画 地	東京都品川区西品川一丁目一番 外
区 域 面 積 ^{注1)}	約 3.9ha
計 画 敷 地 面 積	約 30,400m ²
延 床 面 積	約 219,420m ²
最 高 高 さ ^{注2)}	約 114m
主 要 用 途	業務、住宅、工場、駐車場等
住 宅 戸 数	約 420 戸
駐 車 台 数	約 407 台
工 事 時 期	平成25年度～令和4年度 ^{注3)}
供 用 時 期	平成30年度

注 1) 区域面積には、現況の区道及び区道として提供する用地が含まれている。

2) 最高高さについては、地盤面（G.L.=T.P.+約 6.0m）からの高さを示す。

3) 平成 30 年度に供用を開始しているが、JR 東海道新幹線の高架下道路拡幅工事（補助 163 号線の拡幅工事）が鉄道事業者により行われており、現在も工事期間中である。



凡 例



計画地



大崎駅周辺の主な
開発地区

区界

国道・都道

補助163号線

鉄道(JR線)

鉄道(私鉄)

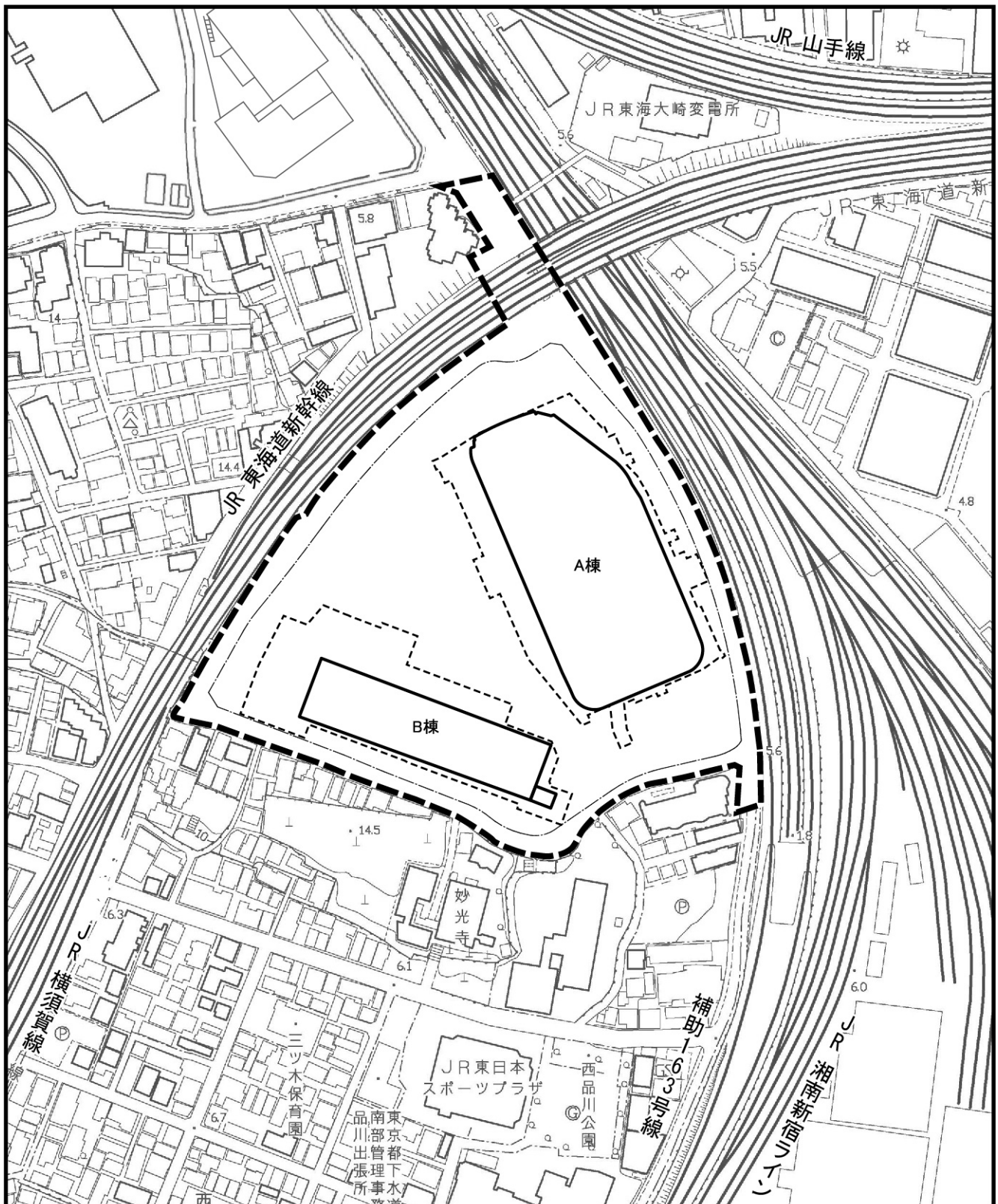
地上部 地下部
鉄道(第3セクター)



Scale 1:10,000

0 100 200 400m

図 3-1 計画地位置図



凡 例

- 計画地
- 供用後の敷地境界線
- 地下部分

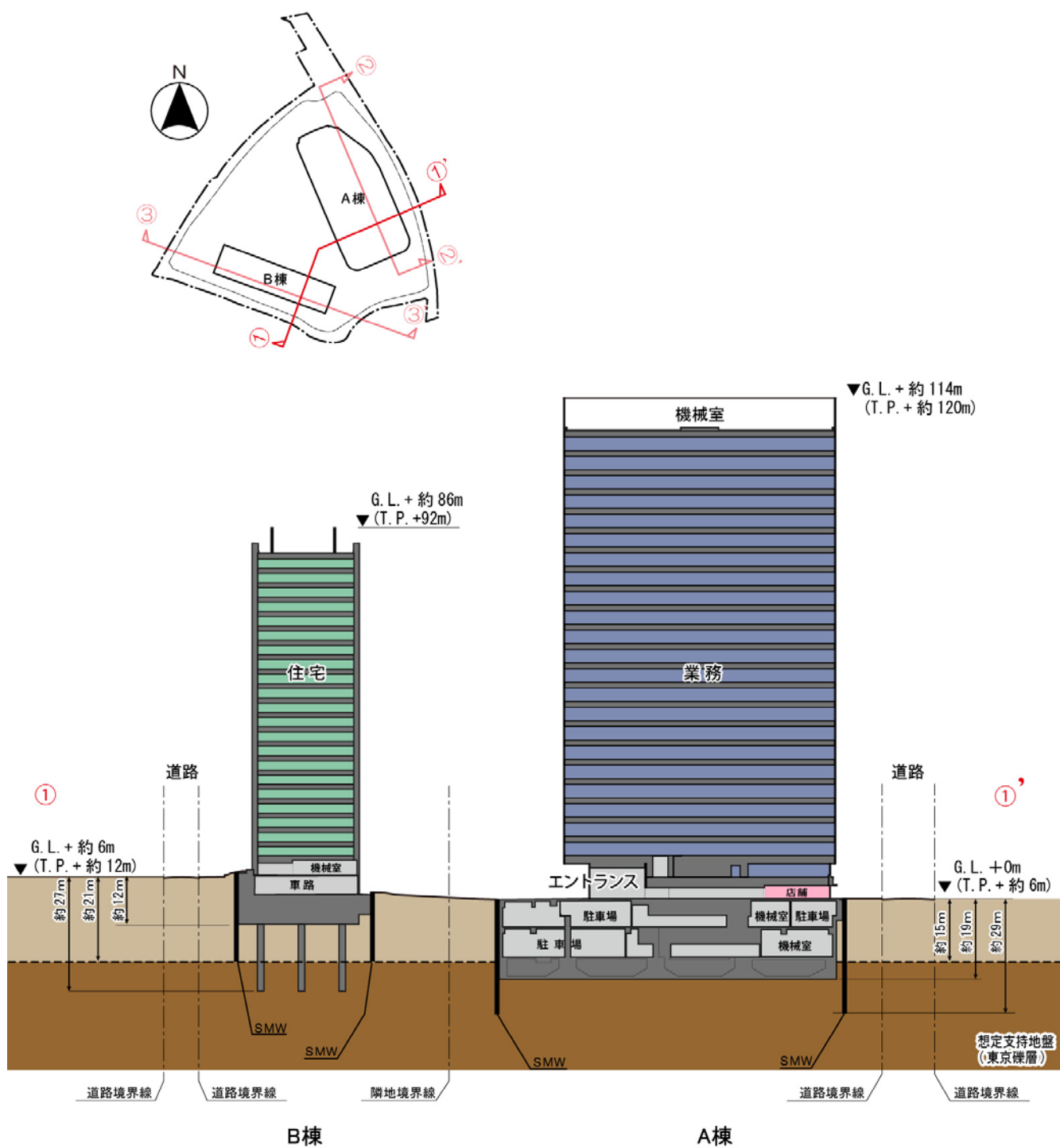
注 1) 計画地は、現況(開発前)の区道及び区道として提供した用地が含まれている。
 注 2) 掘削範囲(地下部分)は事業の進捗に伴い変更した。



Scale 1:2,500

0 25 50 100m

図 3-2 配置計画図



- 注1) A棟は東京礫層を想定支持地盤とした直接基礎である。
 2) B棟は杭基礎である。(図中の杭は根入れ深さを示したものであり、本数は実際とは異なる)

図3-3(1) ①-①' 断面図

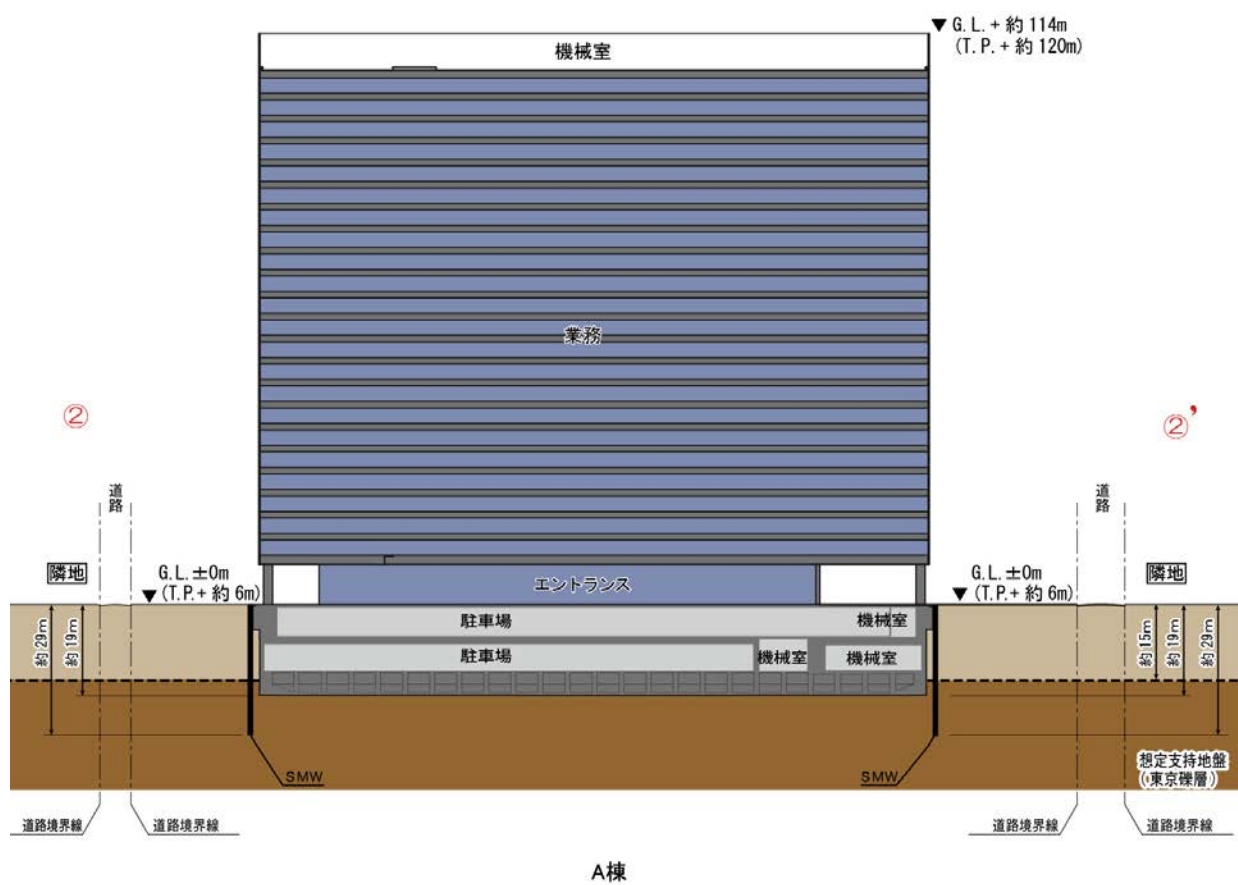
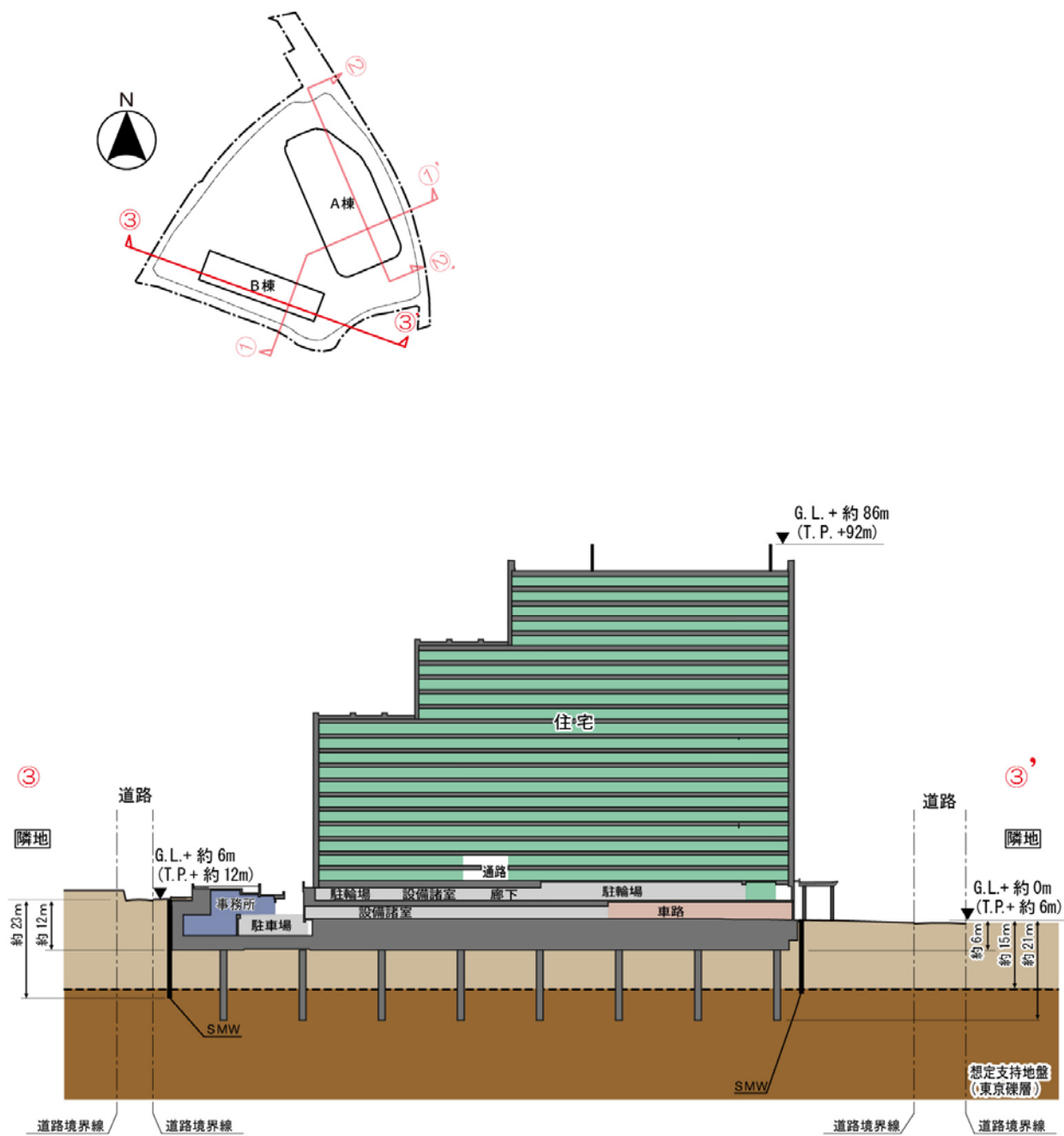


图3-3(2) ②—②' 断面图



注) B棟は杭基礎である。(図中の杭は根入れ深さを示したものであり、本数は実際とは異なる)

図 3-3 (3) ③-③' 断面図